第　３　学年　　社会　科

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>＜歴史的分野＞
教科書：新しい社会～歴史～　東京書籍
資料集：学び考える歴史
ワーク：社会の自主学習～歴史２・３～
＜公民的分野＞
教科書：新しい社会～公民～　帝国書院
ワーク：社会の自主学習～公民～</td><td>持ち物</td><td>教科書
資料集
ワーク
社会ファイル
タブレット
※その他に必要な場合はその都度連絡をします。</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">＜確かな学力を身につけるには＞
・まずは授業に集中しよう。自ら学ぶ姿勢を大切にしよう。
・プリントやワークなどの課題に一生懸命に取り組み、理解を深め、知識の習得をめざそう。
＜家庭学習では＞
・授業の予習として、教科書を読んでおこう
・授業の復習として、プリントやワークなどの課題に取り組もう。
＜定期テストでは＞
・教科書やノートを見直そう。また重要語句をしっかりと覚えよう。
・　ワークなどの問題演習にしっかりと取り組もう。
・教科書や参考書にあるさまざまな資料に目を通して、正確に読み取れるようにしよう。
＜学び合いについて＞
「学び合い」＝「話し合い」ではありません。まずは自分の意見や疑問を持つこと、自分の考えを表現することを大切にしてください。その上で他の人の意見や考えを聞くことで、きっと学習は深まります。“わからなさ”や“深まった”を共有できる学習集団を目指そう。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">・毎回の授業の振り返りを大切にし、分かったこと、分からなかったことを確認しよう。
・ものごと（社会的事象）の特色や相互関連について追及する見方・考え方を身につけよう。
・そのためには「なぜそうなのか」、「どんな工夫がされているか」、「どんなつながりがあるか」といった疑問を持ち、ものごとの裏側に見える理由・背景・関連性を考える習慣を持とう。
・自主学習に地道に取り組もう。
（例えば）・授業で学習した内容を自分なりにまとめる。　・問題演習に取り組む。
・疑問に感じたことや追及したい課題を調べてまとめる。　・重要語句を覚える。
こうした取り組みを継続することで社会に対する見方・考え方が広がります。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画	考査
一学期	4 5 6 7	＜歴史的分野＞ 〇第５章 開国と近代日本の歩み 〇第６章 二度の世界大戦と日本 〇第７章 現代の日本と世界	中間 期末
二学期	8 9 10 11 12	＜公民的分野＞ 〇第１章 現代社会と私たち 〇第２章 個人の尊重と日本国憲法 〇第３章 現代の民主政治と社会 〇第４章 私たちの暮らしと経済	中間 期末
三学期	1 2 3	〇第４章（続き） 私たちの暮らしと経済 〇第５章 地球社会と私たち	期末

評価の観点（見取り）		
知識・技能	社会的事象に関する基本的な知識を身につけている。 諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	授業の取り組み 定期テスト 課題プリント 課題レポート
思考・判断・表現	社会的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	授業の取り組み 定期テスト ファイルの内容 課題プリント 課題レポート
主体的に取り組む態度	社会的事象について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	授業の取り組み 定期テスト ワーク ファイルの内容 その他課題